



特59

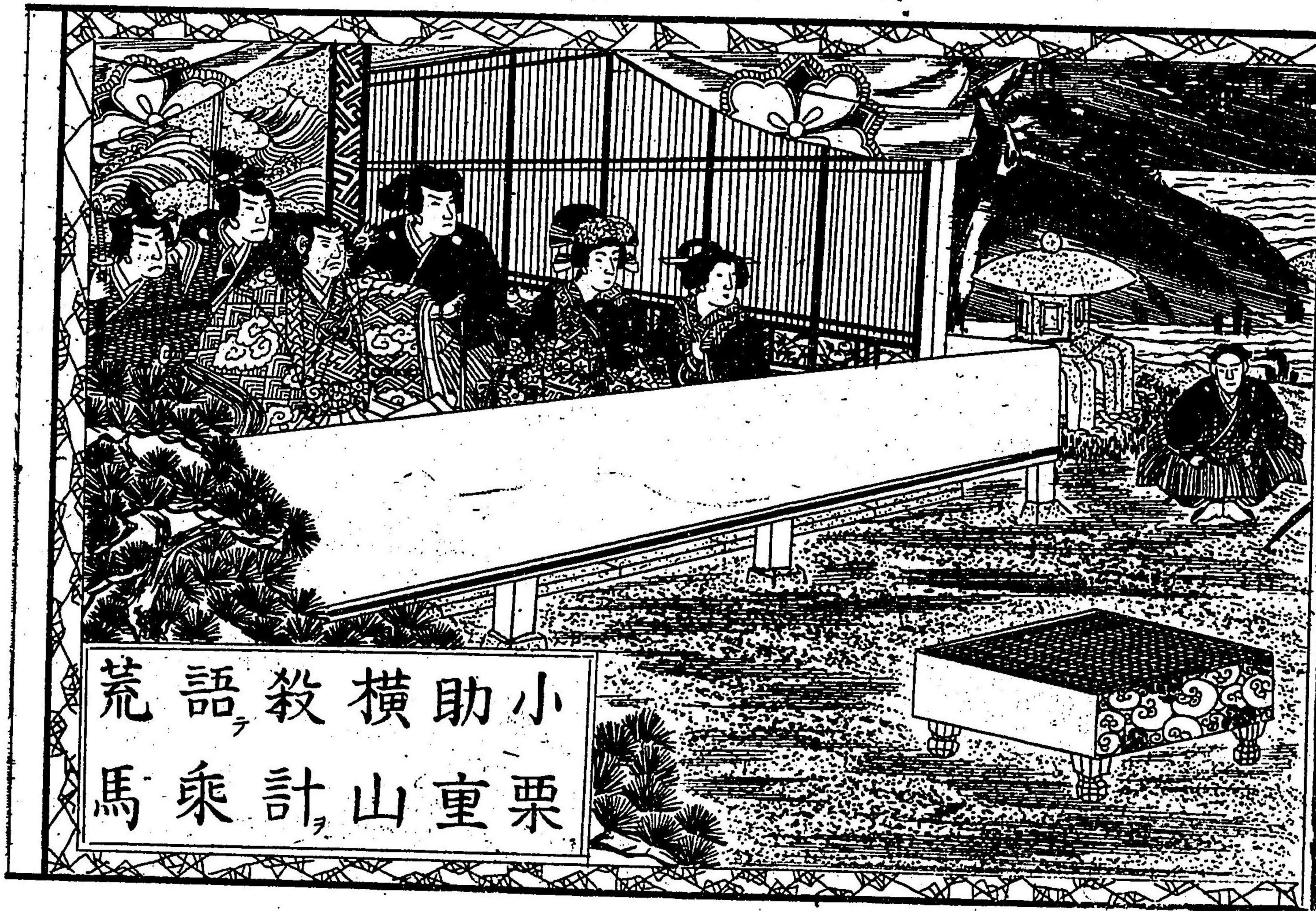
898



小栗







小栗重山助横殺語荒
 栗重山計乘馬





小栗

四





取れと思ひ
 違ひ疾妬のゆゑ
 心狂ひ生命を
 落せし其怨天
 小栗助重の身小栗
 箱根の山中
 多地獄谷の池
 中へ鬼鹿毛を
 乗入やうしめて
 陸を登ると重
 助重の身は焚湯
 の為小焼たれ

お寺(照天)
 走来り此
 天因果の道理を合す



如くかじぎが
 小秋の照天を我
 夫小栗を寐

死みたる鬼鹿毛ハ
 死みたる小栗も今ハ
 路上の露と消多
 折藤澤山を
 進行上人此亦
 水ぬひ助重
 倒る伏





日向軍勢
横山の
寄み
攻め

小栗の勢
勇を震
防戦す
小栗勢
勢ひ盛



助車の
現の妙
全快
久急
亡父
仇の
報
臣
走集りし
兵も諸国の勇
を集り鎌倉

小栗



錦繪紙色々

銅鑄小本品全

版元

東京浅草區
 森田町廿番地
 奥田忠兵衛

